

令和4年度横浜市社会福祉審議会会議録	
日 時	令和5年3月17日（金）10時00分～11時30分
開催場所	横浜市役所18階 なみき14・15会議室
出席者	斉藤伸一委員、山下正人委員、藤崎浩太郎委員、荒木田百合委員、泉今日子委員、漆原恵利子委員、加藤由紀子委員、佐伯滋委員、高岡徹委員、谷口実委員、早川陽子委員、石井マサ子委員、川島通世委員
欠席者	飯山文子委員、井上敏正委員、内田元久委員、石渡和実委員、茨木尚子委員、岸恵美子委員、水野恭一委員
開催形態	公開（傍聴者0人）
議題等	<p>1 新委員紹介</p> <p>2 専門分科会等からの活動報告</p> <p>（1）民生委員審査専門分科会について</p> <p>（2）身体障害者障害程度審査部会について</p> <p>3 報告事項</p> <p>（1）横浜市中期計画2022～2025について</p> <p>（2）第5期 地域福祉保健計画について</p> <p>（3）第9期 横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画の策定について</p> <p>（4）中高年のひきこもり支援の取組について</p> <p>4 その他</p> <p>令和5年度健康福祉局予算について</p>

開 会	開会、注意事項、定足数報告、会議の公開について
企画課長	1 新委員紹介等
石井委員	<p>2 専門分科会等からの活動報告</p> <p>（1）民生委員審査専門分科会について</p> <p>「民生委員審査専門分科会」について説明</p>
荒木田委員長	<p>石井委員、ありがとうございました。昨年は3年に一度の一斉改選ということで、地域の方々も推薦者や候補者を選ぶこと、そして市役所においても、事務手続きが非常に大変な一年だったと思います。地域の福祉活動の中核となる担い手として民生委員は本当に大変な大役を担っておりますので、どうぞこれからも新しい民生委員を支えていただきたいと思います。ありがとうございます。</p>
高岡委員	<p>（2）身体障害者障害程度審査部会について</p> <p>「身体障害者障害程度審査部会」について説明</p>
荒木田委員長	<p>高岡委員、ありがとうございました。</p> <p>ただ今2件の報告がありましたが、この2件についてご意見・ご質問はあります</p>

	<p>でしょうか。</p> <p>※意見等なし</p>
荒木田委員長	<p>それでは、「3 報告事項」になります。まず（１）「横浜市中期計画2022～2025」につきまして、事務局よりご説明をお願いします。</p>
企画課長	<p>3 報告事項</p> <p>（１）横浜市中期計画2022～2025について</p> <p>「横浜市中期計画2022～2025」について説明</p>
荒木田委員長	<p>ありがとうございました。横浜市の4年間の中期計画から福祉分野を全て抜粋していただき、ありがとうございました。4年間で何がどこまで進んだのかチェックし、活かしていきたいと思います。</p> <p>また、簡易的に説明していただきましたが、どれも簡単に進むようなことではありません。健康福祉局の奮闘もありますが、社会福祉審議会のメンバーとしても、行政あるいは地域ケアプラザ、地域の方とも手を携えて、4年後によくここまで来たねと振り返れるように、共にやっていきたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>ただ今の説明につきまして、計画に携わった方もいらっしゃると思います。ご意見・ご質問など改めてございましたらよろしくをお願いします。</p> <p>※意見等なし</p>
荒木田委員長	<p>各部門でこれを作るにあたって、いろいろな意見交換やパブリックコメント等みなさんも参加しながら練り上げた計画だと思いますので、大切に進めていきたいと思います。</p>
福祉保健課長	<p>（２）第5期 地域福祉保健計画について</p> <p>「第5期 地域福祉保健計画」について説明</p>
荒木田委員長	<p>ありがとうございました。このような大都市でありながら、地区レベルでここまできめ細かく対応している都市はめったにないのではないかと思います。</p> <p>ぜひ「認め合い」「つながり」「ともに」というキーワードを大切に地域の基盤作りを進めていただきたいと思います。</p> <p>この件に関しまして、これから常任委員会での議論やパブリックコメント等が行われていきますが、現時点で何かご意見・ご質問がある方はいらっしゃいますか。</p>

山下委員	<p>横浜市の地域計画の大きな柱として、子育て支援を重視していこうということがあると思います。当審議会において、どうしても高齢・障害のところに多く比重がかかっていると思います。</p> <p>委員の構成メンバーも含めて、横浜市の方向性に合わせて教育関係者の方に少し多く入っていただくことが必要ではないかと感じています。特に懸念しているのが、少子化の中において先進国の中で我が国の青少年の自殺率が極めて高いのは看過できない問題だと思います。そういうことも踏まえて、議論できる場を考えていく必要があるのではないのでしょうか。子育て支援のことは今回の保健計画の中に大きく入っているので、考えをお聞かせ願いたい。</p>
企画課長	<p>ご意見ありがとうございました。社会福祉審議会でも、いただいたとおり委員のメンバーについては今後考えていきたいと思っています。</p> <p>ただ、社会福祉法の調査審議事項に、「児童福祉を除く」という規定があります。今やるべきトピックスとしてはおっしゃるとおり子育て支援だと思いますので、そこに触れていけるような形にしていきたいと思っています。</p>
荒木田委員長	<p>ありがとうございました。私も事務局と、この社会福祉審議会とは何だろうという議論をすることがありますが、社会福祉審議会の設置と内容を国が定めたのが昭和26年です。それ以降、特に定義などに変更はありません。</p> <p>昭和26年には子育て支援などという概念がなかった時代で、本当に厳しい児童福祉法があり、お子さんについては、児童福祉審議会で行きましょうという時代で、別々にスタートしました。</p> <p>社会福祉審議会の概念が広がっている中、社会福祉法の定めは変わりませんが、会議の情報をどのように児童福祉審議会と交換し合うのか、あるいは審議会と言いながら何かを決定するわけではないので、そのことを踏まえながら社会福祉をどう進めていくのか、例えば高齢福祉を進める時に、認知症の方の認知機能低下の予防に、子供との交流にとっても効果があることも見えてきているので、バラバラに議論するのではなくて、双方で意見交換して議論をし合う、そういったチャンスをどう作っていくかは一つの課題だと思いますので、ぜひご検討いただければと思います。よろしくをお願いします。</p>
高齢健康福祉課長	<p>(3) 第9期 横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画の策定について</p> <p>「第9期 横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画の策定」について説明</p>
荒木田委員長	<p>ありがとうございました。今まさに実態調査の結果をまとめているところであり、スタート地点に立ったところかと思っています。これから分析し、報告書を作成して、その結果何をどこまで進めていくかを決めていく作業がいよいよスタートします。</p> <p>また折に触れてご報告いただければと思いますが、現時点で、ぜひ伝えておきたい</p>

	<p>ことや、聞いておきたいことがあればご発言いただきたいと思います。</p> <p>※意見等なし。</p>
荒木田委員長	<p>本当に大変だと思いますが、体調を崩さずに頑張ってくださいと思います。それでは次の報告事項に入ります。</p>
生活福祉部長	<p>(4) 中高年のひきこもり支援の取組について 「中高年のひきこもり支援の取組」について説明</p>
荒木田委員長	<p>ご説明ありがとうございました。「市民生活実態調査」の結果、中高年のひきこもり状態にある方は、約2万人いらっしゃるということです。出現率は1.53%。 令和4年5月以降、414件のご相談があったということですが、相談としてはひきこもり状態にある方の推計人数の約2%で、98%はつながってはいない状況です。おそらく民生委員の活動等、様々な活動をする中で、気になる方やひきこもりの方のご相談がある方もいるかと思います。新しいセクションができたということで、ぜひ個別支援が充実していくといいなと思います。</p> <p>この件に関しまして、ご質問やご意見がある方はいらっしゃいますか。</p>
高岡委員	<p>日頃から脳卒中のリハビリテーション支援を行っている中で、ひきこもり状態にあった方が脳卒中になって、我々の横浜市総合リハビリテーションセンターで支援を行い、その後、社会参加へつながっていくという症例をいくつも経験しています。何らかの支援によってつながっていく方もきっといらっしゃるのだらうと思っていますので、この施策に対して期待しています。</p>
泉委員	<p>ひきこもりと認知症は、別問題のような気もしますが、ケアマネジャーやヘルパーが認知症高齢者のお宅に伺うと、その方の子や親戚で、お仕事に行っていないように見受けられる方がいることに、実際に家庭に入る専門職が気付くことがあります。役所などにつながればいいのですが、記録には残しているけれど、なかなか時間がなく、何をどうつなぐということまではできないとケアマネジャーに伺ったことがあります。ですので、このように、ケアマネジャーやサービス事業者で気付かれる方もいるかと思うので、そこからも吸い上げていただけるとありがたいと思います。よろしくをお願いします。</p>
荒木田委員長	<p>ありがとうございます。今のようにケアマネジャーやヘルパーが気付いた時に、施策としては、資料7「3 令和5年度の取組」の(1)個別支援の充実に、チームづくりを行うと書かれていますが、具体的にはケアマネジャーたちは、支援づくりのためにどこかにつなぐことになるかと思います。連絡先はどこになるのでしょうか。</p>

生活福祉部長	<p>健康福祉局ひきこもり支援課にご連絡いただければと思います。</p> <p>実態調査の中で、中高年のひきこもり状態にある方の31.8%が、区生活支援課やひきこもりの相談専用ダイヤル等の公的な相談機関を知らないと回答しています。</p> <p>まずはご本人たちや、地域を支えてくださっている方々に我々の存在を伝えることが大切だと思っていますので、周知に力を入れていきます。</p>
荒木田委員長	<p>ありがとうございます。ぜひケアマネジャー連絡会等に、積極的に連絡先の周知してほしいと思います。</p>
石井委員	<p>私たち民生委員が地域を見回っている中で、わかっているにもかかわらず声をかけにくいという方もいるかと思っています。また、中高年のひきこもり状態にある方のつなぎ先はどこだろうと思っている民生委員もたくさんいらっしゃいます。ぜひ民生委員にもパンフレットや情報をいただけるとありがたいと思います。よろしく願います。</p>
荒木田委員長	<p>ありがとうございます。資料7「3 令和5年度の取組」の(2)に、支援者向け研修の実施及び個別のケース支援を通じた後方支援というのがありますが、ここに至る以前に気が付くであろう方たちへの情報提供もぜひ丁寧に進めていただきたいと思っています。</p> <p>丁寧に進めた結果、電話がつながりにくくなるほど相談が寄せられることになれば、おそらく相談員の数も増えて体制が充実すると思いますので、断ることなくどんどん受けて、電話回線を増やしていただきたいと思っています。どうぞよろしく願います。</p>
企画課長	<p>4 その他</p> <p>令和5年度健康福祉局予算について</p> <p>「令和5年度健康福祉局予算」について説明</p>
荒木田委員長	<p>ありがとうございました。中期計画を進めるための最初の年の予算ということになります。予算概要と中期計画の資料がセットだと、各施策等において新たに始めることなどを具体的に把握することができるとと思いますので、ぜひご活用ください。</p> <p>今日ご発言いただけてない方で、今日の報告、あるいはこれからスタートをきる項目について、ご意見をいただけたらと思います。</p>
谷口委員	<p>障害分野のところではいろいろ細かいところまで考えながらやっていただき、本当に助かっています。</p> <p>障害分野で言うと、今年度・来年度が大きな節目だと思っており、昨年8月に国連の障害者研究委員会で総括所見が出されて、日本の法律と世界の法律で違うところがあったり、神奈川県当事者目線の障害者推進条例が4月から始まるということで、私たち障害のある方を支援している者にとって大きな節目であるなど感じていま</p>

	<p>す。</p> <p>そういった中で、どこの分野も当てはまると思いますが、福祉の現場では人材確保と育成ができない程の人材難となっています。</p> <p>市でも研修等を実施していますが、そうした中でも、人材がいないことの忙しさや慌ただしさで、虐待までいかなくとも、不適切な支援がされてしまっていることもあるかと思います。</p> <p>今、いろいろな分野も大変だと思いますが、そういうところを知っていただいて、一緒に頑張っていけたらと思っています。</p> <p>また、先程のひきこもりなどもそうですが、居宅のサービスが増えている中で、他の分野やヘルパーから、引きこもりの方がいるよね、実は障害のある方だった、と情報をいただき、支援につながるケースもありますので、引き続きみなさんよろしくをお願いします。ありがとうございます。</p>
<p>荒木田委員長</p>	<p>谷口委員、ありがとうございました。このコロナの3年間で地域作業所も販売や地域のお祭りにクッキーを売りに行ったりする機会も減って、非常に厳しい運営を強いられているのではないかと思います。</p> <p>社会福祉協議会でも、職員がやっていたことをなるべく作業所に出せないかと業務の洗い直しなどを行っております。</p> <p>横につながっているいろいろな状況を知ることで少しでも理解し合えて、それぞれが発展していけるような、そういうことがこの社会福祉審議会の開催を契機に広がるとありがたいです。</p> <p>思っている以上に現場の人材難、離職率の高さ、さらに周辺自治体ではどんどんお給料が上がって、私どもは養成機関のようになっていて、2～3年訓練して他都市に出ていくという非常にシビアな現実もあって、おそらく作業所は大変ではないかと思っています。ご発言ありがとうございました。</p>
<p>漆原委員</p>	<p>私は旭区で特別養護老人ホームの施設長を長くやっております。そういう現場の立場から一言だけお伝えさせていただきたいと思います。</p> <p>令和5年度、「第8期横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画」が終わるところで、第9期の計画がこれから定まっていく段階だと思います。第8期計画では予算の中にあるように令和5年年度は12か所の特養を整備されるということですね。今まで全国で量的充足を目指して、新設の施設ができてきました。</p> <p>これまでもそうだったと思いますが、量的な充足とともに担い手の人材不足が本当に深刻です。第9期計画では、どの程度床数が増えるのだろうと懸念しています。</p> <p>今ある既存の施設の空床率などを見ると、感覚的に以前よりも率が高くなっているのではないかと、感じています。</p> <p>ぜひ第9期計画においては、新設をどんどん増やすのではなく、今ある施設や、例えば、ますます発展していく施設を充実させていくような、そういう観点を持った計画と一緒に考えていただければ、というのが希望です。</p>

荒木田委員長	<p>漆原委員、ありがとうございます。本当に現場の実態の人材不足の厳しさというのは、ヒリヒリするようなものと実感しています。</p> <p>確保しても確保してもこぼれ落ちていく、その中で日々施設を運営していかなくてはならない、でもたくさんの方にご利用いただきたい、それをどうやって進めていけばいいのか、新しい計画を作るにあたって、現場の声を感じながら充実した計画をぜひよろしくお願いします。</p>
早川委員	<p>社会福祉という観点からすると、医療のことは直接的ではないと思います。今回の中期計画の施策の中でも17番の医療提供体制の充実、救急救命体制及び災害時医療の充実による危機管理体制の強化のところに焦点が絞られるのですが、センター病院は救命緊急センターを持っています。</p> <p>現在になりますと災害時救急ということで、DMATやYMATなど独自の制度の中で動くというのが職員のモチベーションになっていることは確かですが、やはり現場を持ちながらそういうところとの関わりに関しては、みなさん言われたように、人手という意味では、病院の患者さんに関わる人手が薄くなってしまふところが、とてもとても危惧しています。</p> <p>いろいろな制度や施策を組み立てていく中で、現場の人手や財源に関してはぜひ良い形で提供していただきたいと思います。</p>
荒木田委員長	<p>ありがとうございます。局の所管としては医療局になるのかもしれませんが、災害時は本当に医療と関わる分野だと思いますので、ぜひ医療の分野とも連携を取って情報交換をして進めていただければと思います。</p> <p>私も先日、横浜市内のセンター病院の院長と意見交換する機会がありましたが、コロナの時はまさしくそうで、在院の方ではまわらない、それをどうするのか、今までにないような目新しい取組が芽生えて、看護部門の踏ん張りなしではコロナの対応も在院の対応もできなかつた、今思い出しても胸が詰まるようだと言っていました。それほど現場の踏ん張りにかなり頼っているのが事実なので、そういう時にどうやって他県からの支援を得るかなど、重層的な仕組みをぜひお考えいただければと思います。よろしく願いいたします。</p>
加藤委員	<p>中高年のひきこもり支援というのは私たちケアマネジャーにとってはありがたいと思います。私たちは、直接は高齢者の方を担当しますが、ひきこもり状態にある方も支援が必要な方であるため、家族支援という観点から、地域包括支援センターや区役所につなげてきました。</p> <p>しかし、つなげててもなかなか良い解決策がなかった現状があります。それが、横浜市の方でこうやって新しくひきこもり支援課ができて、連絡ができて連携が取れるといいなと思っています。</p> <p>今、みなさまから人材不足のお話がありましたが、私たちケアマネジャーの業界も有資格者はたくさんいますが、就労しないケアマネジャーがたくさんいて、高齢</p>

	<p>化ということも問題になっています。</p> <p>支援を必要とする高齢者は増えているが、担うケアマネジャーのなり手がいない、どうやったらケアマネジャーに就労してもらえるだろうかということで、横浜市とも話し合いが進んでおりますので、一つ一つできあがっていくと、私たちも支援していく中で非常に助かりますので、ぜひ連絡会にひきこもり支援課の周知に来ていただけるとありがたいと思います。ありがとうございます。</p>
荒木田委員長	<p>ぜひケアマネジャー連絡会にも行ってください。</p>
佐伯委員	<p>みなさんの施設や方向など素晴らしい内容だと思います。施設の立場から言いますと、私どもは障害者のいる団体ですが、各法人が設置する様々な相談機関について、実際に相談したい人にどのように周知していけば情報が行き届くのか悩んでおり、どうすればいいのか考えています。</p> <p>こういった施策やシステムがあることをどうやって本人に周知させるかが大切だと思います。</p> <p>本人も日々年齢と共に困りごとは変化しているので、結局どうしたら良いかわからなくて自分で抱え込んでしまうケースも見受けられるので、周知する方法をいろいろ考えた方がいいかと思っています。</p>
荒木田委員長	<p>ありがとうございます。必要な方に必要な時に情報とサービスが行き届く仕組み作りですね。おそらく個別ケアだけではなく、ファミリーケアやコミュニティケアという中で見つけてお届けする。</p> <p>健康福祉局の中の個別施策と地域福祉、地域ケアプラザと区役所、市社協そういったものがどれだけ密接にきめ細かくつながれるか。それをやるには目の前に掲げていることがあって、新しいことがきて、わかっているのだけどちょっと後回しのようなことにならないような仕組み、あるいは、現場との意見交換もぜひ進めたいと思います。</p> <p>区役所も日々の業務が増えて、この狭い区役所の中によくこれだけの人が収まっているなと思います。その中で気持ちよく地域の人とタッグを組んでやっていく、そういった現場になるように目配り、気配りをぜひよろしくをお願いします。</p>
閉 会	
荒木田委員長	<p>本日、予定していた議事は以上です。</p> <p>これで、本日の社会福祉審議会を閉会します。</p>

	<p>1 資料</p> <p>【資料1】横浜市社会福祉審議会について</p> <p>【資料2】横浜市社会福祉審議会委員名簿</p> <p>【資料3】専門分科会等からの活動報告</p> <p>【資料4】横浜市中期計画2022～2025（健康福祉局抜き刷り版）</p>
--	--

	<p>【資料5】第5期 地域福祉保健計画における素案骨子（案）について</p> <p>【資料6】第9期 横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・ 認知症施策推進計画（よこはま地域包括ケア計画）の策定について</p> <p>【資料7】中高年のひきこもり支援について</p> <p>【資料8】令和5年度健康福祉局予算概要</p> <p>2 特記事項 なし</p>
--	---